

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	10	行事等を通じたご家族の関わりについて、参加下さる方が固定されている。参加されないご家族は、面会も少ない方が多い。 行事の参加に関わらず、職員に対してご意見やご要望を訴える方はほとんどおらず、言い難かったり、気軽に出入りしにく状況もあるのかもしれない。	ご家族がご意見やご要望を気軽に職員に相談できる場が作れる。	・担当や、リーダー管理者だけでなく、一人ひとりの職員が面会に来られたご家族に話し掛けていく。	12 か月	
2				・ご家族の顔を、全職員が把握するために、ご利用者とご家族と一緒に写っている写真を居室に貼らせていただく。	12 か月	
3				・行事に参加頂けるよう、日頃からお声掛けをしていく。(声掛けの内容は、ご利用者のお気持ちやご様子を中心に)	12 か月	
4	23	職員がご利用者の本位の考え方を基本に、お一人お一人の思いやご意向、暮らし方の希望に添えるように努めていく。	その方に合った支援、介助を行い、日々の変化(ご利用者の表情、言葉、動き)を見落とさないようにする。	・申し送りや医療ノートのチェックを行い、分からない事や上手く出来にくい介助などは、スタッフ同士で教え合い、情報を共有していく。	12 か月	
5	40	食事中に会話が無かったり、表情が乏しいご様子から食事を楽しめていない可能性がある方が時々おられる。	食事中に笑顔が出たり、食事中ならではの言葉(食材や季節、感想など)があっ楽しめるような時間が過ごせる。	・日頃から時々外で食事をするなど、季節に応じた変化を工夫(目、鼻、口で美味しいと感じる)していく。 ・懐かしいと思えるような食事の提供を行う。 ・ご利用者に教えてもらいながら作っていく。	12 か月	

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	23 25	ご利用者が退屈そう(何かを本当はしたいのに)だったり、しんどそうな姿勢で過ごされる事がある。	ご利用者が自分のペースで休めたり、活動出来たりして安心と意欲を持って生活が送れる。	・ウィークリーアクションプランをリーダーのみが振り返っていたが、出勤していた日中職員全員が振り返れるような欄を作って、毎日実施する。	12 か月	
2	35	災害時の避難の手順を職員全員がしっかりと把握出来ていない。	職員全員がご利用者とどう避難するか理解し、実践できる。	・毎月25日～月末に避難訓練の日を設け、職員全員が月替わりに経験できるようにする。	12 か月	
3					か月	
4					か月	
5					か月	

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】

実施段階		取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
			⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
			②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
			⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
			④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
			②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
			③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
			⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
			④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
			⑤その他()